

低圧用検電器

音響発光式

AC・DC50V~600V

「太陽光発電の工事に最適！」

電気のプロが携帯する多機能型検電器の逸品
一流デザイナーによるニューフォルム



- 誘導電圧の判別が可能
- 用途に合わせた感度切替が可能
(裸線・被覆線切替式)
- 逆誘導電圧による不必要動作を防止
(オプションのリード線を接地する)
- AC・DC 100/200V の電圧判別機能付き
(オプションのリード線により線間電圧を判別)

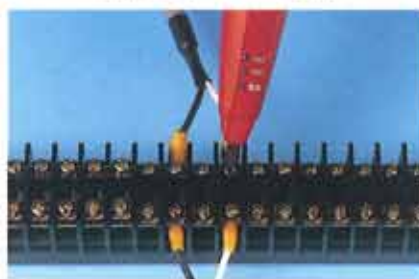
■ 定格および仕様

型 式	HT-670型 (低圧交直両用電圧判別機能付き)	絶 縁 抵 抗	検知部と接地端子間: 500Vメガ使用にて 5MΩ以上	
使用電圧範囲	AC・DC50V~600V 50/60Hz共用	絶 縁 耐 力	同上間 : 2000V - 1分間	
動作開始電圧 (対地電圧)	スイッチ: 被覆	絶縁電線(600V-IV)にてAC40V (断続動作)	漏 洩 電 流	同上間 : 1mA以下
	スイッチ: 裸線	裸線にてAC30V±15V、DC30V±15V (連続動作) (リード線接続時) 100V LED点灯 AC、DC 30V±20V (連続動作) 200V LED点灯 AC、DC140V±30V (連続動作)	使用温度範囲	0℃~+40℃
		電 池 寿 命	通常使用で約1年	
		使 用 電 池	アルカリボタン電池 LR44 (1.5V) 2個	

被覆線検電 (スイッチ: 被覆)



裸線検電 (スイッチ: 裸線)



電圧判別 (スイッチ: 裸線)
リード線接続



■ 使用方法

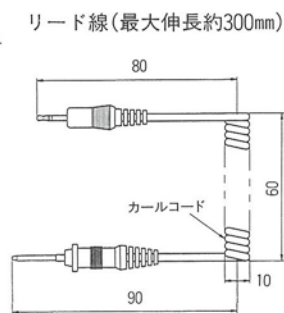
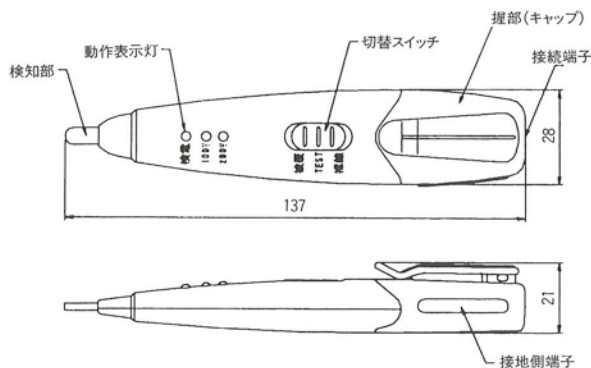
検電前に (使用前点検)	<ul style="list-style-type: none"> ● 外観、構造に異常が無いか点検してください。 ● 切替SWを「TEST」の位置にし連続動作(発音・発光)を確かめます。動作しないとき、発音・発光が弱いときは電池を取替えてください。 ● 「TEST」は、電池等のチェックで検電器の試験ではありませんので検電器試験器や既知の電源で動作を確かめてください。 ● 交流被覆線でのご使用時、使用状態にあった感度になっていることを確かめてください。
検電	A C 検電： <ul style="list-style-type: none"> ● 切替SWを検電対象電路の状態（「被覆」又は「裸線」）に切り替えます。 ● 接地側端子部を素手でしっかり握り、対象電路に検知部を正しく接触させて検電を行います。 ● 被覆線なら断続音光、裸線なら連続音光します。接地側でも電圧や状況によっては断続音光することがあります。(SW位置：被覆の場合)
	D C 検電： <ul style="list-style-type: none"> ● 切替SWを「裸線」の位置に切り替え、接地側端子部を素手でしっかり握り、対象電路の裸線に検知部を接触させて検電を行い、連続音光します。(被覆線上では動作しません。)
	電圧判別： <ul style="list-style-type: none"> ● 接続端子にリード線を接続した場合は、線間の電圧判別ができます。 ①切替SWを「裸線」の位置にする。②リード線を接続端子に接続する。 ③検電対象電路の裸部に接触させ、リード線の先端をもう一方の裸部に接触させる。
	低压ゴム手袋着用時の検電： <ul style="list-style-type: none"> ①切替SWを「裸線」の位置にする。②リード線を接続端子に接続する。 ③リード線の先端をアースに接触させ、検知部を検電対象電路の裸部に接触させて検電してください。 ④AC電圧の時、スイッチ位置を「被覆」にし、裸部に当てることでも検電できます。

■ 注意事項

性能	<ul style="list-style-type: none"> ● 本器は低压用ですから、AC・DC600Vを超える高压電路に対しては、危険ですので絶対に用いないでください。 ● 高压の近く（2m以内）では動作状態になることがあります。 ● AC100V-2線、AC200V-3線（4線）の内の1線は、普通は接地（アース）されていますので、その線に対しては動作しません。電路の充電の有無は2線または3線（4線）の各々を検電してください。 ● 遮へいされている電線は検電できません。また、接地されていない金属管、ケースなどは誘導電圧で動作することがあります。 ● 雨中では危険ですので使用しないでください。 ● DC非接地回路の場合、通常の検電はできません。(対地間電圧での検出) この場合リード線を接続し、線間電圧の検出は可能です。 ● リード線を使用して線間電圧を判別する場合、リード線の取扱には、十分注意してください。使用中に外れますと感電やショート恐れがあります。
取扱	<ul style="list-style-type: none"> ● 水に濡れると故障の原因となりますので、ご注意ください。 ● 夏期の路上に放置したり、自動車の中の高温になる場所等に置かないでください。 ● 落下、下敷き等、衝撃や強い力が加わらないようご注意ください。又、薬品等で拭かないでください。 ● 保管する場所は直射日光の当たらない、屋内の乾燥した所を選んでください。 ● 長期間使用しない時は、電池が粗悪な場合漏液して検電器を損傷しますので、電池は取外して保管してください。

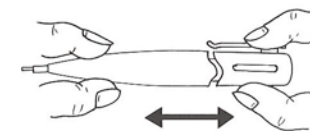
■ 外形構造

本体



〔電池取替〕

- キャップを外し電池の裏面よりドライバ等で押し出してください。
- +、-の極性を確かめて2個とも取替えてください。



(注) 改良のため仕様を若干変更することがあります。

不許複製・転載